



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.89

2023.夏号



なでしこ苑入所者の
皆さんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、
潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から
介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワーク
を構築します。

組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりが
いを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘 …………… p10～11
- 備中荘 …………… p12～13
- 宇垣荘 …………… p14～15
- 玉松園 …………… p16～17
- 和みの郷かなや …………… p18～19
- 新人紹介 …………… p20

風船バレー

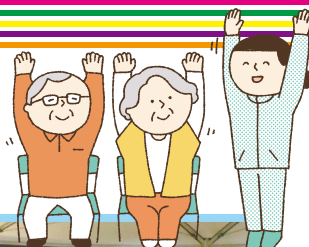
令和5年6月22日に施設対抗風船バレー大会がやすらぎホールにて開催されました。
施設ごとに、ユニフォームや応援グッズに工夫を凝らし、華やかで楽しい大会となりました！

出番です！



コミュニティーカフェ

令和5年7月21日にやすらぎホールにてコミュニティーカフェが開催されました。
今回は手品や職員による楽器演奏で楽しい時間を過ごしました♪
ストレッチ体操も参加者の皆さんと行いました。



やよいの里の食堂

コロナが流行し外出が出来なかったこの3月の話です。今年も遠足は難しいかなと思い、食堂を桜でいっぱいになりたいね、素敵ですよ、なんて会話から桜の花作りを始めました。有志で集まりちょっとした合間に作り、満開の桜の木が食堂に出来ました。すごいね、綺麗ね、お花見が出来て良かったわと沢山ほめてもらい嬉しくなっていて、じゃあ次は何しようか？…藤の花、菖蒲、薔薇とアイデアを出してやよいの里の食堂はたくさんの花に囲まれています。

介護職員 山下 のり子



七夕飾り

今年も例年通り、七夕の日に利用者様と一緒に願い事を書いた短冊や、装飾の飾り付けを行いました。今年も大きく立派な笹が2本届き、皆で協力し飾り付けに取り掛かりましたが、あまりの大きさに一苦労ですが、笹が大きい分、飾りをしっかりすれば、それはそれは素敵な七夕飾りが出来るのではないかと、参加者全員一丸となって頑張りました。完成した時は、綺麗な良い物が出来たと大変喜ばれていました。

笹を立てて、皆様の願い事を見ると、「世界が平和になりますように」「健康で過ごせますように」等といった願い事が書かれていました。今年も皆様が元気で過ごせるよう頑張っていきたいと思います。

介護職員 黒川 雅弘



7月誕生会

7月11日誕生会が開かれました。7月と言えば海の日、BGMに海の音を入れて少しでも海を感じていただこうと、デザートは瀬戸内レモンミルクプリンにしました。7月にはなんと105歳と101歳になられる方がおられてそれぞれスピーチをして下さいましたが、「ウクライナとロシアの戦争が終わって世界が平和になりますように」と言われたときには涙が出そうでした。さてお茶を楽しんでいただいてから、お部屋でできる簡単な喉のリハビリと仕上げに声を出しましょうと(マスクはしていましたが…)海と憧れのハワイ航路を熱唱しました。さあ元気を出していきましょう。



介護職員 熊代 薫

なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

《なごみ祭り》

イチゴの飾り付けをした可愛い雰囲気の中で、イチゴパフェを召し上がって頂きました。男性の入居者様は少し恥かしさがあった様子で「若い頃は、恥ずかしくてパフェなんて頼んだことがありませんでした。今回初めて食べましたがとても美味しいですね。」と喜んでいただけました。

もちろん、女性の入居者様からも好評でした。



《端午の節句茶会》



5月の新緑が爽やかな季節にお茶会を行いました。

服部施設長が被っている新聞紙で作った兜ですが、皆さんも一度は子どもの頃に作られた思い出があるのではないのでしょうか。昔の事を懐かしく感じていただきながら和やかなお茶会となりました。

介護職員 西谷 裕子

《七夕茶会》



7月6日七夕祭りでお茶会をしました。

「芭蕉庵」さんの和菓子【天の川】と冷茶の煎茶をご用意させていただきました。

数日前から短冊をカウンターに置き、願い事をみなさまに書いてもらいました。たくさんの願いごとがある方は何枚も書いて下さいました。

健康の願い事を書かれる方が多かったですが、中には世界平和の願い事を書かれている方もいらっしゃいました。その後短冊は北長瀬にある白髭宮に奉納してくださったそうです。願いごとが叶いますように。



《集団リハビリ》

コロナ禍で、集団リハビリをしばらくお休みしていましたがようやく定期的に皆様と体操ができるようになりました。

しっかりと身体を動かすことができ、みなさま参加を喜ばれています。



介護職員 新田 佑子

7月は七夕!

7月は七夕! 笹を用意し利用者様が願いを書いた短冊を飾りました!

願い事の中身を少し見てみましょうか…

「阪神タイガースが優勝しますように」

「大谷選手がMVPをとれますように」

と盛り上がっている野球の話題…

「健康でいられますように」

「美味しい物が食べられますように」といった日頃からのお願い…

職員の幸せを願ってくれる短冊もありました。

生活をしていると願い事を考える機会はなかなかないと思いますがこのような行事に合わせて「願い事」を考える事で前向きな気持ちになっていただけたのではないのでしょうか?

それぞれの願いを綴った短冊が彩る七夕飾りに今年も夏の訪れを感じますね。

皆さんの願い事がかないますように…



介護職員 高見 幸子

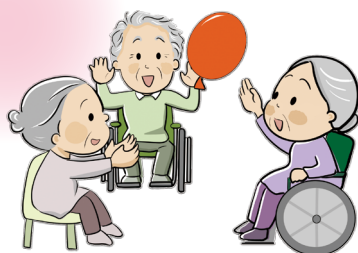
「風船バレー大会」が行われました。

6月に3年半ぶりに「風船バレー大会」が行われました。

今回は以前と違い感染対策の為1試合のみの試合でしたがコロナの期間もあり久しぶりにやすらぎホールでの行事だったので試合や応援にも力が入り結果1勝する事が出来ました。

大会前にはレクリエーションの時間を利用して一生懸命練習しました。みなさん参加され、久しぶりの風船バレーを楽しむことが出来ました。

次回開催では優勝目指して頑張るぞ!!



介護職員 猪田 香織

《仮想カラオケ大会》

令和5年6月28日カラオケ大会を行いました。

今回は例年の仮装カラオケ大会ではなく、仮想カラオケ大会と名前を変更し利用者様みんなでカラオケボックスに来ている雰囲気を楽しんでもらいたいと企画しました。

13時30分からなでしこ苑の3階食堂に参加出来る利用者様に集まっていただき、「時間になりましたのでカラオケ大会を始めます」と言った瞬間、猛烈な雷雨が…。

皆さんカラオケ大会より猛烈な雷雨に釘付けになってしまいました。

雷雨の中始まったカラオケ大会ですが、皆さま久しぶりのカラオケ大会の為か、なかなかマイクを持とうとはされませんでした。一旦有名な曲を流し口ずさむ利用者様にマイクを持って行き、恥ずかしそうにマイクを持って歌う方、全力で拒否する方もいらっしゃいましたが、懐かしい曲に手を叩いたりして、みなさんカラオケを楽しまれていました。

次にリクエストを募った時には、何曲かリクエストをいただきました。

その中で、特に印象的だったのが秋田県の民謡の曲でした。リクエストの時点では曲名が分からずヒントは「秋田県の曲」と利用者様の鼻歌しかなく、分からないままカラオケの本にあった秋田県の民謡を入れるとそれが正解だったようで本人様マイクを持ち意気揚々と歌われました。

最後に携帯電話とテレビを繋いでYouTubeの美空ひばりさんを数曲流したところ、皆さま大変喜ばれ、「私、美空ひばりが大好きなの」と涙を流される方もいました。

30分の短い時間でしたが音楽を楽しんでいただけたと思います。



介護職員 井村 壮志



〈2F〉《2階の日常生活》

皆様、こんにちは。先日岡山にも梅雨明け宣言が発表されました。さあ、いよいよ夏本番です。たちばな苑2Fでは、7月初旬に七夕飾りをしました。短冊に利用者皆様の願いをそれぞれ書いていただき、笹の葉に結んで飾りつけをしました。

“腰痛が治りますように” “元気に過ごせます様に” “世界が平和でありますように” 一人一人の小さな願い、短冊に込めた願いがどうぞ星空に届きます様に！

さらに、2Fでは7月に100歳を迎えられたご利用者様がいらっしゃいました。“まあ、私100歳？92歳じゃないん？”少し合点がいかない様子。何歳になっても元気で健康であれば、それだけで素晴らしい、のです。多少のサバ読み(?)は深堀せず(笑)、“お誕生日おめでとうございます”と言うと、ニコリ笑顔で応えられています。

日頃2Fでは、余暇時間を利用して、利用者皆様がいろいろな活動をされて過ごされています。テレビ体操をしたり、計算問題、ことわざ、間違い探しなどの脳トレプリント、塗り絵、また、読書をされる方、歩行器を使ってユニット内の廊下を歩行練習される方もいらっしゃいます。「〇〇さん、今何曜日ですか?」「3曜日、あと2周。今日はしんどいわ!」

自宅復帰を目指して、身体機能回復・維持のため一人一人が頑張っておられます。職員は、それを見守り、時には声掛けし、時には冗談を言いながら、一緒に寄り添って歩きます。一日一日小さな積み重ねですが、利用者皆様の日々の努力もきっと夜空に届いているに違いありません。

たちばな苑 影山 恵也



〈3F〉《3階の日常生活》

じめじめとした梅雨も明け、太陽の日差しが眩しい夏がやってきました。コロナ感染症が5類になったとはいえご家族様と直接触れ合うことができず、なかなか外にも出ることができないというのが現状です。ユニットリハビリなどで見守りをしながら利用者様とフロア内を歩いている際も「いい天気!外に出て歩きたい。」「中におると暑いか寒いか分かんないなあ。」という言葉が聞かれることもちらほら。

そんな中で少しでも季節感を味わって頂きたいと、毎月フロア内を装飾しています。梅雨時の紫陽花の次は、かわいい朝顔の登場。毎日目にする場所だからこそ、笑顔での会話に繋がるきっかけになればと思います。

隔週で新しくなるエレベーター前の生花もご案内すると立ち止まって見られる方も思っている以上に多く、外で活動することのできる私たちにとってはちょっとしたことでも、ご利用者様にとっては気分が変わるものであることが分かります。窓の外を見ればすっきりとした青空と遠くには入道雲。「朝顔の次は何か?」笑顔と共にそんな声が聞けるよう、季節の移り変わりを感じながらご利用者様の五感に訴えられるような工夫をして伝えていけたらと思います。

介護職員 岡村 美智代



〈4F〉《4階の日常生活》

コロナ感染症の分類が5類に引き下げられ、観光などで市内には少しずつ賑わいが増えはじめました。

たちばな苑でも、コロナ緩和にあわせてコロナ前のような賑わいに近づけるようにと感染症等に配慮しながら、少しずつその時期に合わせたイベントを行っています。

6月には久しぶりとなるライフケアセンター内他施設との風船バレー大会を行いました。以前のようにライフケアセンター全施設が集まっての大規模な実施ではありませんが、久しぶりの他施設との交流を行うことで、いつもと違った刺激を感じても貰うことができ、試合も楽しく参加されていました。

7月には4Fフロア内で盆踊り大会を行いました。皆さんが会場に集まり『炭坑節』の曲が流れ始めると、「これは『炭坑節』じゃな」と笑顔になり、『難しいなあ』『それから?』と曲に合わせて手を動かす方や歌を歌う方が増えはじめました。ハッピを着た職員と共に『炭坑節』を踊りはじめると、皆さん笑顔で手拍子や踊りで盆踊りに参加されていました。

未だにコロナの脅威は続いてますが、これからも感染症等に注意しながら利用者様に喜んでいただけるような、様々なイベントを行えるよう援助を続けていきたいと思っています。

介護職員 大森 治



デイケアセンター

通所リハビリ

作品づくり

お手帳「藁草履が可愛かった(´▽`)」
「お昼の献立を書いとく!!」



蒲萄ポーチ
「蒲萄を一粒ずつ付けるのが難しかった。」



猫クリップ

「猫が好きだから♡」

「縫うのが難しかった!」



スタンドグラス

「配色の合わせに頭を使った。」



つまみ細工

「絹の素材で貼り合わせる作業が楽しかった。」



小物入れ

「ステッチの針が通りにくかった。」



母の日

ラミネート詩織



父の日

折り紙シャツ
爪楊枝入れ



折り紙駒

景品作りに挑みました



壁面制作

カタツムリがリアルです。



憧れのハワイ航路は
デイケア歌



しだれ柳が綺麗!



ひと針ひと針
完成しました。



開けてビックリ
玉手箱



クワガタも
通所利用!



イベント

夏祭り♪演奏会も兼ねてヨーヨーすくいをしました!!
なんと掬えたのはピカチュウ♡
一番乗りのヨーヨー釣り。大物ゲットで花咲く笑顔頂きました。



一芸

デイケアには芸達者なスタッフが大勢います。
未知なる才能を見出すスタッフもいます。そして見出された芸が「おでこ演奏」
鍵盤ハーモニカを拭きながら手ではなく、おでこで鍵盤を演奏する器用さ♡
一度見たらやみつきの事間違いなし!! 感動ものです!! 是非見に来て下さい。



健康教室より

「知らず知らずのくれ脱水に注意が必要」

マスクをしていると、マスク内の湿度が高くなるので喉が渇きを感じにくく、体内に熱がこもりやすいなどの理由から脱水状態になりやすいので熱中症のリスクは増加します。暑さを避け、小まめな水分補給を心掛けましょう。



介護職員 安田 美保子

デイサービスセンター

通所介護

☆朝顔の種をまきました☆

先日、昨年デイサービスで咲いた朝顔から出来た種を職員と一緒に撒きました。

「どんな朝顔が咲くのか楽しみじゃ〜。」「先生何色が咲くん?」と興味津々と楽しそうに職員と会話をしながら植木鉢に植えていました。あと朝顔のほかに風船カズラも一緒に植えました。どちらも現在ススクと育っていますが毎日成長を楽しみながらお花が咲くのを首を長くして楽しみにしていますが、お花が咲くのはもう少し先になりそうです。(笑)



☆最近の創作活動☆

日々作品作りをしています。最近の大作は梅雨の時期のカエルとてるてる坊主とあじさいでカエルの合唱の楽譜風に壁画にしました。皆さんのいろんなアイデアでとてもいい作品ができました。ほかにもおよげたいやきくんの貼り絵も完成しました(^▽^) / 「ここはどんな風にしたらいいじゃろうか?」「いや〜ここはこの色じゃないとおかしいんじゃない?」と色々アドバイスを受けてアッと言う間に作品を仕上げてしまいます。意外と泳げたいやきくんは知らないかと思っていましたが、皆さん意外にご存じて歌を歌い歌詞の内容で色々盛り上がりしました。次はどんな作品が出来上がるのか乞うご期待!!!! (笑)



☆七夕☆

今年も七夕の時期がやってきました。今年も昨年と同じように笹に皆さんのお願い事を書いて頂きました。「どんな願い事がいいかなあ?」「願い事はなあ・・・」と色々悩みに悩んで思い思いに願い事を書いておられました。「1つじゃ願い事が足りんなあ。」それぞれの七夕を楽しまれていました。笹に自分の願い事を吊るすと嬉しそうにされ他の方の願い事も見て「みんなの願い事が叶うといいなあ。」と願いを込めておられました。

皆さんの願い事が叶いますように☆彡



☆ピアノ演奏会☆



済生会看護専門学校の学生さんが実習に来られ特技としてピアノ演奏をしてくださいました。日頃なかなか聴く事が出来ないピアノ演奏に皆さん真剣に聴き入っておられました。

「素敵なお曲だったねえ。」「音楽を聴いたら元気がでるわあ。」と言われ終わると大きな拍手をしていました。中には感動して涙を流される方もおられました。

皆さんとてもいい時間を過ごす事ができました。

介護職員 稲本 祐子



特別養護老人ホーム

憩いの丘 デイサービスセンター

● ボッチャ ●

レクリエーションに新しいゲーム「ボッチャ」を取り入れました。ボッチャとはイタリア語でボールのことです。障害者の為に考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目として知られています。障害の有無に関わらず、老若男女楽しめます。ご利用者にとっては珍しいもので「こりゃなんで？どうやってするん？」と興味津々。的になるボールにどれだけ近づけるかがわかると、口々に「赤をあそこに投げりゃあええな。」「青が2個近いがー。」「一人での競技よりチームでするほうがええわー。楽しい。」と喜んでいただいています。

色々な対戦方法と戦略があり、毎回変化もつけられるので飽きないです。

地域のサロンへも貸し出し、大変好評です。身体機能維持、意欲向上、気分転換、集団における社会性など様々な面で一役かっています。今後もご利用者の主体性を尊重しながら、「ボッチャ」を楽しみたいと思います。



赤 頑張れ!!!

どこへ青を
投げりゃえんなー!



白のボールにちがづけて
それ!



憩いの丘デイサービスセンター 副主任 矢尾 みずほ

研究発表会に参加しました!

令和5年度(第49回)岡山県老人福祉施設 職員研究発表会に参加し、【介護士だからこそ出来る転倒予防運動】についての研究発表をさせて頂きました。

高齢者が要介護となる原因の中に認知症と骨折・転倒が多く挙げられ当事業所でも在宅生活が困難となるケースがみられます。そこで、他職種に可能な転倒予防訓練に対する方法と効果を検討し、半年取り組んでデータをとりました。結果は、数値としては仮説した通りにはいきませんでした。6か月という長期間において平均年齢88.5歳の超高齢者に対して機能維持が可能であったことが分かり、今回の研究が有意なものであった事が分かりました。

転倒予防訓練で使用した、ビー玉やゴルフボール、竹やタオル、新聞紙など自宅にある物で代用可能なため、安価で取り組みやすく気軽にリハビリに取り組む姿が見受けられました。「指がよ一動くようになったんじゃあ!」「足がポカポカ温もったようなあ〜!」「浮腫みが軽減したようじゃ!」と、利用者から「楽しかった」「成果がある」と感じてもらえる事でモチベーションも上がり良い事ばかりです。

引き続き皆様に色々なメニューを準備し、転倒予防・認知症予防訓練に継続し取り組んで頂き、“いつまでも住み慣れた家で暮らしたい”という想いに応えたいと強く思います!

憩いの丘デイサービスセンター 介護職員 片岡 なおみ



特別養護老人ホーム

憩いの丘



7月7日



7月7日に七夕会を行いました。笹の葉に飾られた短冊には「家族が元気で暮らせますように」「台風や地震が来ませんように」「世界平和」「お金持ちになりたい」「美味しいものをたくさん食べたい」など個性豊かな願い事がたくさん書かれていました。

昼食には七夕素麺、おやつに七夕ゼリーが出て「美味しいねー」「人参が星の形になっとる」などと談笑しながら楽しいひと時を過ごしました。

(七夕は中国伝来の「七夕伝説」と「乞巧節」に日本古来の「棚機つ女」の伝説やお盆前の清めの風習などが結びついて現在のようになつたそうです。七夕の後、七夕飾りを川や海に流す風習を「七夕流し」といい七夕飾りが天の川まで流れ着くと願い事が叶うと言われています。)

介護職員 石本 美由紀、保本 弥生



ある日の風景



コスモスの家では、布おしめやおしぼりたたみ等を入所者の方が手伝ってくださっています。

「私も手伝ってあげようか」「私もやりたいわ」と入所者の方から声を掛けてくださり大変助かっていて、お話しをしながらあっという間に終わらせてくださいます。

毎日が慌ただしく、なかなかゆとりある時間が持てませんが、入所者の方と一緒に作業することで日ごろの思いや、昔のお話などを聞くことができ貴重な時間となっております。今後も一緒に時間を共有し、小さなことでも新しい発見が出来たらいいなと思っています。

お手伝い本当にありがとうございます。

これからもよろしくお願いします。



介護職員 石本 美由紀、保本 弥生

介護老人保健施設

子どもの日にお子様ランチ



令和5年5月5日（金）の子どもの日、お子様ランチをご提供いたしました。

オムライスにエビフライ、ハンバーグやフライドポテト、デザートにプリンもつけて。日の丸旗を立てれば“ザ・定番”お子様ランチの完成です。

今年の決め手は何と言ってもタコちゃんウインナー！

童心にかえって楽しんでいただけたようです。



管理栄養士 谷口 直美

第21回全国済生会在宅サービス協議会に参加

令和5年7月22日（土）に、和歌山県の和歌山城ホールで開催されました「第21回全国済生会在宅サービス協議会」に参加させていただきました。コロナ禍により開催不能やハイブリッド開催などを経て、今年は通常開催となり、参加者は203名と過去最高となったそうです。今年のメインテーマは「心通い合う在宅サービスを目指して」でした。利用者様と適切な信頼関係が築けるよう尽力していきたいと思いました。また、特別講演では「突発的危機管理への対応 日本初のCOVID-19院内感染を経験して」を傾聴させていただきました。日々の業務の中で危機管理への対応力は不可欠だと思います。常に想定をしっかりとしつつ適切な対応が取れるようにしていきたいと思いました。



理学療法士 井上 慶一

面会制限を一部緩和



令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、これまでの面会制限を一部緩和し、各フロアのセミパブリックスペースにて対面での面会を再開しました。対面での面会再開に入所者様やご家族様もとても喜ばれています。

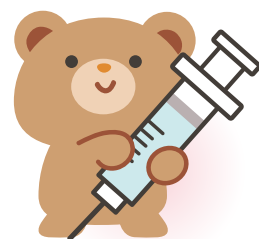
現在、感染状況も増加傾向にあるようですので、動向に注視しつつ、サービス提供の充実と感染リスクの両面を考慮しながら臨機応変に対応していきたいと思います。

事務職員 市川 浩司

新型コロナワクチン オミクロン株対応ワクチン接種を実施

令和5年6月に入所者様と職員を対象に、新型コロナワクチンオミクロン株対応ワクチンの接種を実施しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからも、国内の感染状況は増加傾向にあることから、多くの入所者様、職員が接種しました。

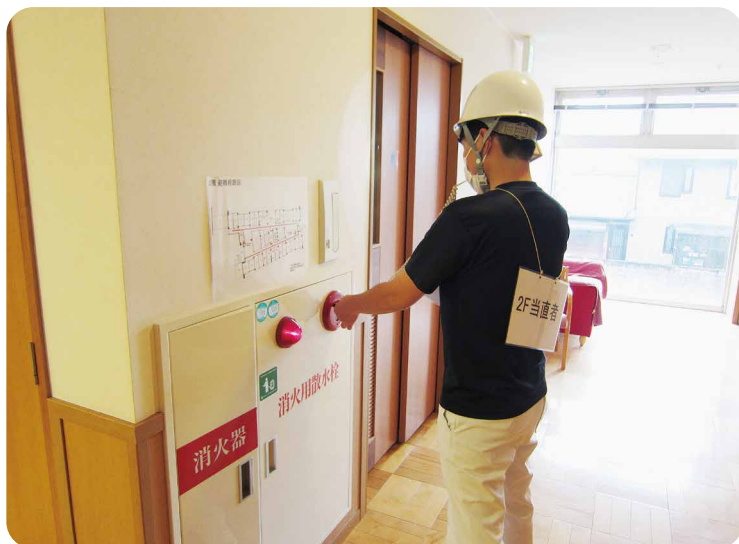
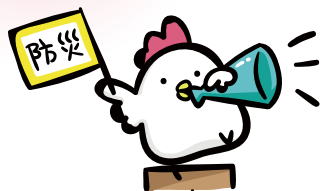
引き続き感染予防対策を徹底していききたいと思います。



事務職員 市川 浩司

備中荘 防火避難訓練を実施

令和5年6月29日（木）に防火避難訓練を実施しました。訓練を通じて、消火器、散水栓、放送設備などがどこにあるのか、どう使用するのかを把握することができました。もしもの時の為にスムーズな連携が図れるよう、日々の業務の中でも意識をし、訓練の機会も大切にしたと思いました。



介護職員 仁宮 正裕

祝 開設11周年記念 昼食交流会

昼食交流会

令和5年7月3日（月）地域交流ホールに集まり、豪華なお弁当を囲んでお食事会を開きました。ここ数年コロナ禍で直接顔を合わせての交流が出来ていませんでした。数年ぶりに再会され喜ばれ会話が盛り上がり、ショートステイで一緒になる仲良しの方をデイサービスの仲良しの方へ紹介したり、各々がキラキラした表情で交流会を楽しめました。

お食事は日頃より朝・昼・夕の食事を提供頂いている日清医療食品㈱提供の松花堂弁当でした。大きい蓋を開けて「わあ～ごちそう」「こんなに食べれんでー」「美味しいわー」大満足の笑顔頂きました♡



ミニゲーム ～私は誰でしょう？～

お食事のあと、事業所対抗のクイズゲーム！画面に映った顔写真を見て有名人の名前を答えるゲームです。分かった人は手を挙げて～と言っている傍から、大きい声で「石原裕次郎!!」「美空ひばり!!」と大いに盛り上がりました。対決の結果は「またしょーなあ」と、仲良く引き分け。本当に楽しかったです（^^）



看護職員 江田 知里

笹の葉 ～さらさら～

宇垣荘の七夕も早いもので11年目を迎えました。利用者様はそれぞれの願いを込め、短冊に書かれる姿は真剣そのものでした。願い事は「家族が元気で過ごせます様に」「いつまでも元気で過ごせます様に」と、「元気」と言う肝心なキーワードが多く書かれていました。

色々な手作りの飾りを「これはこう飾るんじゃ」「私の短冊はここがええ」と気持ちをこめて飾り、完成しました。あとは願いが叶うことを待つばかり。

皆様の願いが叶い、元気に過ごせます様にお祈り申し上げます。



介護職員 三木 佐登美

特別養護老人ホーム

願いを短冊にこめて

今年も七夕の飾り付けをしました。

童心にかえり短冊に思い思いの願いを書きこみ、みんなで作った飾りと一緒に笹に吊るしました。そして、立派に飾られた笹の前で、
“はい！ポーズ”

7月7日は一年に一度だけ彦星と織姫が天の川を渡り会える日と言われているのですが、あいにくこの日は宇垣荘から天の川は見えませんでした。が、世界のどこかの天の川を渡り二人会えている事でしょう。

「皆様の願いが叶いますように」
「皆様の笑顔がいっぱい見えますように」
と願いをこめて。



介護職員 春名 千津子

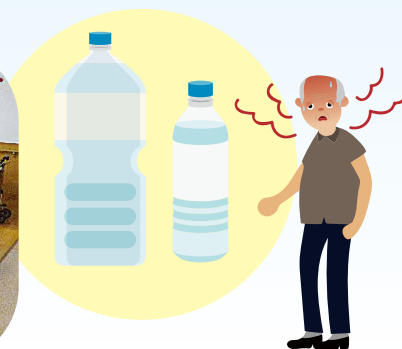
水分補給について

梅雨が明けて猛暑日が続くとの予報が出ていたことから7月24日（月）昼食の時間帯、各フロアにて脱水により現れる症状（頭痛やめまい、けいれん）や熱中症対策についてお話をしました。

水分補給の目安としてコップ1杯の水分を1日8回（朝食、10時、昼食、15時、夕食、起床後、就床前、入浴後など）意識的に摂っていただくようお願い致しました。

入所者の皆様が今年も元気に夏を乗り越えられますよう職員一同努めてまいります。

管理栄養士 友次 朋恵



訪問販売再開



当園で生活する入所者の楽しみとして、地域の食料品店による訪問販売があります。コロナウイルス感染により来園しての販売が約2年間中止となっていたましたが、7月より月2回での販売を再開しました。

地域交流ホールには沢山のお菓子やパン等が並び、入所者が実際に目で確かめ、自由に買い物ができる機会を作っています。訪問販売の日は、朝からホール前で待っている入所者の姿があり、楽しみにしている様子が伺えます。コロナ対応が緩和されたとはいっても感染してしまう恐れは考えられるため、対策としてマスクの着用、手指の消毒、入室できる人数を制限する、金銭受け渡し場でのビニールシート設置を行うとともに、入所者が必要以上に買いすぎてしまわないよう、職員見守りの下、買い物を楽しんで頂いています。



コロナ禍においては、週1回個人で食べたいものを注文用紙に書き、看護師の確認の下FAX注文を行っていました。コロナ前の自由な外出や集団での交わりが制限され、入所者の楽しみが大きく減ってしまったこと、部屋で過ごす時間が多くなり、体を動かすことがなくなり、食べることに對しての欲求がより一層強くなったことで買い物する量が増加していました。

再び、コロナウイルス流行の兆しがみられていますが、感染対策を行いつつ、少しでも体を動かす機会を持たせること、生活の中に楽しさや潤いをもてるよう、他施設の動向もみながら開催していきたいと考えています。

生活相談員 田村 嘉章



春の散歩



コロナが落ち着き、外がぽかぽか暖かい時期になりました。
三年ぶりに園庭に出て、燕や空・桜の花🌸を眺めて、「空気が違うな!」「外は気持ちええな!!」「太陽に当たれてぬくもったわ!」
晴天の日は、「今日も行こうで」と誘い会って、毎日園庭の散歩を楽しめました。

介護職員 安藤 好恵



カラオケクラブ

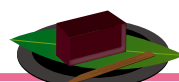


コロナの影響で中止になっていた、カラオケクラブが7月から再開しました。マスクを着用しての規制はありますが、久しぶりにマイク🎤を持って、大きな声で十八番を熱唱されていました。😊
「三年ぶりで、声が出んわ(^^)」「歌えたわ(^^♪)」皆さんの明るく楽しそうな笑顔を見る事が出来ました。今後も最高の笑顔で楽しんで頂けるよう支援させていただきます。

介護職員 安藤 好恵



喫茶



7月の喫茶タイムは夏らしく、1回目は羊羹、2回目はコーヒーゼリーにしました。
2回ともすごく暑い日で、よく冷えた羊羹やコーヒーゼリーはとても好評でした。
喫茶の時は皆さん、思い思いに仲の良い方と来られ、楽しいひとときを過ごされています。

介護職員 佐川 治代

Aさんのこと

コロナ禍も4年目に入っておりますが、依然として当園の入所者も行動の制限を余儀なくされ、歩行能力をはじめ運動不足感が否めません。

認知もなく独歩可能な方は近所のスーパー等に自力で行っていたのが遠い昔のようです。

行事も中止となり日常生活になかなか楽しみが見いだせず、つい食べる事に執着しがちな方も見受けられます。

入園13年目を迎えたAさんですが、最近少しふくよかになったこともあり、1日6,000歩を目標に歩くと決めておられるようです。



以前は施設周辺を頻繁に散歩されていましたが、今は出歩けない為施設内の廊下を毎日歩かれています。日中は友達と楽しそうに、夜は一人で黙々と頑張っておられます。

継続は力なり、その効果は絶大で、体重はなんとマイナス10kgになったとか。

同時に食生活にも気を付けるようになったそうです。

早く外に出て散歩ができる日がくることを願っております。

頑張れ! Aさん!!

事務員 坪本 恭平



和みの郷かなや



養護老人ホーム（一般型特定施設）



和み菜園



5月初旬：プランターに野菜の苗や花🌻を皆さんで植え付けしました。プランターの土を耕し、肥料も入れ、慣れた手つきで「ゴーヤ、かぼちゃ、メロン、ナス、マリーゴールド、朝顔」を昔話を交えながら植えられていました。「いいのが出来るかな？」等と言いながら、なかなかの出来上りに満足されていました。植え付けされたプランターは皆さんが集まる日当たりのよいホールの前に置き、グリーンカーテンが出来上がるのを心待ちにされていたところ、7月中旬には植えたゴーヤが実り、収穫の時期を迎えました。「あの丸いのはなんじゃろうかあ〜？」と毎日観察して大きくなるのを楽しみにしています。蔓はいったいどこまで伸びるやら🌿

計画作成担当 古屋 純子



運動会

コロナ禍も落ち着きを取り戻した6月21日、施設長の開会宣言で運動会が始まりました。

赤白キャプテンの正々堂々とした選手宣誓、ラジオ体操で身体をほぐし、いざ競技!! 最初は“玉入れ”です。若い男性職員が老婆さんに、女性職員がお爺さんの衣装を身にまとい腰を曲げて手作りのリヤカーを牽いて登場すると、皆さん大笑い!

トマトの形をした玉（赤組）と、ジャガイモの形をした玉（白組）をチームごとにリヤカーへ投げ入れて、どちらも譲らぬ熱き戦いとなりました🔥。

定番の“ボール送り”では、大きなビーチボールにビックリしながら、いつもは大人しい方も目の色を変えて隣りの人に落とさないよう一生懸命に渡されていました。

最後の競技は“おもり引き”。ペットボトルに水を入れたカゴを3人で力を合わせて紐で引っ張りました。思った以上に難しく、『難儀』をしながらの競技でした。💧

職員も赤白に分かれて、くじで引いたゲーム（しり相撲、押し相撲、タオル引き、叩いてかぶってジャンケンポン）で競い合いましたが、今日一番の盛り上がりでした（笑）今年の優勝旗は紅組のキャプテンの手に渡り、無事に運動会は終了。

入所者の皆さんは「楽しかった〜😊」「久しぶりに大きな声で笑わせてもらったあ〜」と言われ楽しい運動会になりました。

介護職員 金田 由子





可愛い？不思議な？訪問者

国の特別天然記念物である“オオサンショウウオ”が、施設内の駐車場に無断駐車していました!!。朝、何やら見慣れない黒い物体があるのを発見(°д°)!💧。近づいてみると、「なななんとオオサンショウウオではあ～りませんかあ～!!」。発見した職員もビックリ!! 梅雨の長雨で増水した川に流されてやってきたのでしょうか?

突然の訪問者に、入居者さんも朝からテンションが上がって、「昔は料亭に持っていけば喜んでもらえてたんよ～」、「わあ～すごい!! 可愛い♥️」と大騒ぎ。顔のどこにあるのか判らないつぶらな瞳はとてもかわいく見えました。

サンショウウオは『清流とよばれる川の中流域から、山間部の谷川などに生息しています。夜行性なので日中は暗がりです。じ～っと息を潜めて休んでおり、夜になると動きだす』そうです。そんなサンショウウオがなぜ川から、道路へ上がってきたのでしょうか。

早々に新見市役所へ連絡、「川の上流へ放してやります!」と保護していただきました。

「どこへいくともお言わないでえ!」北のどこかで元気に過ごしていることでしょう。

計画作成担当 古屋 純子



七夕行事

笹の葉 さらさら～♪ 今年も、七夕行事に向けて皆さんでお飾り作りを行いました。「元気で暮らせますように!」・「コロナが早く落ち着いてほしい!」といろいろな願い事が書かれた短冊を、思い思いに笹に飾り付けられていました。お昼はおいしい“七夕にちなんだ料理”を、お腹いっぱいいただきました🍴。「あゝ、おいしい～😊」

計画作成担当 古屋 純子





みなみがた荘

事務長 渡辺 一郎



- ①昭和町健康管理センター、支部事務局総務課、同財務課を経験してこの度ライフケアセンターでお世話になることになりました。経理は過去の経験を活かして施設のお役に立ちたいと思う一方で、福祉部門は初めてですのでご指導くださいますようお願いいたします。
- ②趣味：風を感じながら走るドライブ、ゆったりとした音楽鑑賞

みなみがた荘

介護職員 堀江 千恵



- ①介護職員を始めて5年目になります。まだまだ未熟なところもありますが日々勉強を重ね、安心安全な介護ができるように頑張っていきたいです。よろしくお願いします。
- ②絵を描くのが好きですが、利用者さんにイチゴの絵を描いて見せたら「かぶですか」と言われます。

みなみがた荘

介護支援専門員 中村 陽子



- ①この度、みなみがた荘在宅介護支援センターで働かせて頂くことになりました。利用者様が自分らしく暮らす事が出来る様に、知識を深めながら、謙虚な姿勢を忘れずに業務に臨みたいと思います。よろしくお願いします。
- ②趣味は美術鑑賞です。ミュージアムショップでグッズを見るのも好きです。

なでしこ苑

運転手 赤澤 日出樹



- ①8月から送迎車のドライバーとして勤務しております。慣れない大型車と細かい路に悪戦苦闘しておりますが、利用者様の安全を第一に安心してご乗車いただけるよう心掛けてまいります。
- ②自分でも嫌になるほど特技や趣味がありません。強いて云えば動物が好きで、物心ついた時から何がしか動物や昆虫を飼っていました。妻も動物好きで今は13歳になるオス猫と3人(?)暮らしをしています。

たちばな苑

介護職員 小川 治美



- ①6月より、たちばな苑で勤務しております。まだまだ未熟ですが、日々笑顔忘れず、頑張ってます。よろしくお願いします。
- ②趣味はドライブ、旅行です。

備中荘

介護職員 谷山 貴大



- ①今まで老人保健施設の従来型で9年、ユニット型で2年働いてきました。その経験を活かして入所者様に安心して過ごしていただけるよう援助していきたいです。また、介護の知識や技術をより多く身に付けスキルアップしていきたいと思っています。
- ②元々は、ダイエットと犬を飼っていたことがきっかけで散歩を始めました。散歩をすると、ゆったりとした時間の流れを感じたり、何も考えず自然を感じながら過ごすことが自分にとってリフレッシュになり、ストレスの解消にもつながりました。今では犬の散歩以外でも歩くことが増え、いつもと違う場所を歩くと、いつもと違う風景を見ることができるので、飽きることなく続けることができます。

和みの郷かなや

介護職員 金藤 凌汰



- ①7月から勤務しています。肩を壊して十分な介護の仕事が出来なくなりましたが、少しでもお役にたてば幸いです。よろしくお願いします。
- ②特技は、三歳から始めた神楽で、神楽社を立ち上げて頑張っています。趣味は、溪流(ヤマメ)釣りです。



編集後記

木もれ陽



暑い、暑い夏、今号の発行に携わっていただいた各施設の皆さん、関係者の皆さんに感謝申し上げます。

猛暑、炎暑などと様々に表現されますが、「危険な暑さ」という表現がぴったりの日々が続いています。特に高齢の方は暑さや水分不足に対する感覚や体の調整機能が低下しているといわれ、暑さを避け、こまめに水分を補給することに重要な必要があります。

また、「新型コロナウイルス感染症」は、感染症法上の位置づけが変更されたとはいえ、昨年度の第7波、第8波のときの流行を超えたともいわれ、高齢者施設においては引き続き感染拡大防止の対策が求められます。

みんなの協力で、暑さや感染症の波を乗り越えていきましょう。

玉松園 宮安 健